

京都大学教育研究振興財団助成事業
成果報告書

2024年11月8日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会長 藤 洋作 様

所属部局 基礎物理学研究所

職名 教授

氏名 向山 信治

| | | | |
|---------------|---|---|-------------|
| 助成の種類 | 令和6年度・国際会議開催助成 | | |
| 国際会議名 | 第27回素粒子物理学・宇宙論国際会議 (COSMO2024) | | |
| 開催期間 | 2024年10月21日～2024年10月25日 | | |
| 開催場所 | 京都大学百周年時計台記念館および国際科学イノベーション棟 | | |
| 参加者 | 総数 507(現地参加) | 内訳 392(海外)、115(国内) | |
| 成果の概要 | タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 <input type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/> 有() | | |
| 会計報告 | 事業に要した経費総額 | 22,590,000 円 | |
| | うち当財団からの助成額 | 1,000,000 円 | |
| | その他の資金の出所 | (機関や資金の名称)カブリ数物連携宇宙研究機構、APCTP、度京都大学教育研究振興財団 | |
| | 経費の内訳と助成金の使途について | | |
| | 費目 | 金額 (円) | 財団助成充当額 (円) |
| | 会場費・ポスターボードレンタル | 5,070,000 | |
| | 招待者旅費・謝金 | 1,980,000 | 1,000,000 |
| | レセプション・バンケット・他 | 9,370,000 | |
| | コーヒープレイク・ランチ | 3,460,000 | |
| アルバイト | 830,000 | | |
| 配布用バッグ・筆記用具 | 980,000 | | |
| 会場設営・消耗品費・通信費 | 900,000 | | |
| 合計 | 22,590,000 | 1,000,000 | |
| 当財団の助成について | (今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) | | |

成果の概要/向山信治

COSMOS2024 は 2024 年 10 月 21 日から 5 日間、京都大学本キャンパスの時計台と国際科学イノベーション棟を会場に開催された。プレナリーセッションとパラレルセッションの一部は、固定椅子で 500 名、仮設椅子で最大 520 名収容可能な百周年記念館（時計台内）で開催された。その他の並行セッションは、300 名まで収容可能で 3 つの部屋に分割できる国際会議場（同じく時計台内）と、国際科学イノベーション棟内のシンポジウムホールで開催された。招待講演 21 件、一般講演 2 件、口頭発表 169 件、ポスター発表 246 件が行われた。

COSMO2024 には、若手のポスドクや大学院生を含む多くの（500 人以上の）研究者が、第一線の研究者と直接交流する機会として参加し、研究交流を促進する絶好の機会となった。COSMO2024 は、ダークマター・ニュートリノと素粒子物理学、重力波とブラックホール、インフレーションと原始宇宙、大規模構造、修正重力とダークエネルギー、数値宇宙論/AI、電波天文学・CMB と 21cm、統計的手法と宇宙論におけるテンションなど、主要なトピックを網羅することに成功した。

[Invited plenary speakers]

Ignatios Antoniadis (Chulalongkorn/LPTHE), Francis Bernardeau (Saclay/IAP), Linda Blot (Kavli IPMU), Maria Charisi (Vanderbilt U.), Adriaan Duivenvoorden (Flatiron Institute), Pedro Ferreira (Oxford U.), Wendy Freedman (U. of Chicago), Laura Herold (Johns Hopkins U.), Cullan Howlett (U. of Queensland), Kei Ieki (ICRR, U. of Tokyo), Keiko Kokeyama (Cardiff/Nagoya), Elisabeth Krause (Arizona), Alexander Kusenko (UCLA), Scott Melville (QMUL), Hiranya Peiris (Cambridge U.), Adam Riess (Johns Hopkins U.), Leszek Roszkowski (AstroCeNT CAMK PAN/NCBJ), Keitaro Takahashi (Kumamoto U.), Mark Trodden (Upenn), Yi Wang (HKUST), Kathryn M. Zurek (Caltech)

